

## 第 2 回検討委員会の主な意見とその対応

意見	対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>国の政策によって変更されることがたくさんあると思う。各事業について、総合的な視点から考えていく必要があると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の環境基本計画における 3 つの側面（環境・社会・経済）での取り組みや国際目標である SDGs とも結びつけて、プランの中で位置付けていきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>卒 FIT の事業について、定量的な数値の把握をどうしているのか。市としては赤字となっても継続しなければならないと思うが、その到達点が曖昧になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒 FIT の取り込みは非常に手間がかかるため、他の地域新電力会社と連携しながら効率的に実施していくことを今後の検討課題とする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>10 年後を考えた際に、約 80% はハイブリッド車、電気自動車になっているのではないかと。そうすると電気が必要になり、充電設備も必要となる。電気使用量は増加するのではないかと。</li> <li>交通のエネルギーについて、電気自動車を使用すれば、CO2 削減だけでなく、防災にも活用できる。その際に太陽光発電など、地域新電力を使用すると方針に位置付けておけば、一つの面白い取組になると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気自動車等は災害時の利用などにも注目されており、プランにも普及啓発の取り組みを盛り込んでいる。</li> <li>充電については、マイクログリッド構築プロジェクトにおいて、太陽光発電の余剰電力を利活用する方向性を位置付ける。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>電力の自家消費について、余剰な電力があれば 0 円で湯を沸かすシステムが出来そうである。その内容を新プランに入れてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域マイクログリッド構築プロジェクトにおいて、余剰電力の活用の方向性について位置付ける。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs に関してアピールするのであれば、「女性の活躍できる場づくり」を方針として位置付けてはどうか。</li> <li>湖南市は福祉連携の取組が先進的であるため、その幅を少し広げてみてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針 2 に「地域資源との関わりを見つめ直し、誰もが参画できるまちづくりの推進」を位置付け、子どもや女性、障がい者など、誰もが参画できる自然エネルギーによるまちづくりを推進することを明記する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>欧州では、エネルギーの観点と福祉を絡める際に、「エネルギー貧困」という考え方がある。貧困者が断熱性能のない住宅に住み、亡くなってしまうことのないように、皆で資金を支払い、対策を貧困者まで行き届かせる。そのような視点も入れては面白そうと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針 3 に「安全に暮らせる強靱で持続可能な脱炭素まちづくりの推進」を位置付け、誰もがエネルギーに困ることのない社会の実現をめざすことを明記する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>自然エネルギーを活用する一つの家を使ってモデル住宅のような広報をしてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ZEH の普及・啓発に関する取り組みを記載する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>プランの中で分かりやすい取組や効果を示していただければと思う。例えば「企業がこのような取組をすると、このような効果がある」など。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振興方策 5 に基づく市の取り組みとして、自然エネルギーの導入や SDGs に配慮した企業の取り組みを PR していく。</li> </ul>

意見	対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2 削減目標について、今まで積み上げ型による目標設定であったが、今後は年率〇%削減として、「それに向けて〇〇の取組を実施していきます！」といった示し方（バックキャストイング）が良いのではないかと。</li> <li>・卒 FIT の取組について、指標等があれば検証結果や進捗状況の把握にも活用できると思う。</li> <li>・構成案の中で対象期間を 5 年間としているが、滋賀県では 2050 年の CO2 排出量を実質ゼロにする目標を立てられている。湖南市における 2030 年以降の排出量について教えてほしい。</li> <li>・プランでは自然エネルギーを「地域で活用する」ことを理念となっているが、そういった内容を目標として設定できないか。例えば地産地消率など。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振興方策、3つの側面（経済、環境、社会）ごとに目標値を設定している。</li> <li>・積み上げ方式ではなく、少し大きな目標として設定し、その目標に向かって、取り組みを進めていく形としている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマス発電で、養豚場の床から発電とかは考えられるか。他市の事例では馬の寝床の木片チップなどを燃やして発電していた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木質バイオマス発電については、周辺自治体で大規模な取り組みが行われており、材の取り合いとなっている。湖南市では、まずは地産地消による熱利用の促進を検討していく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略プランの構成が把握できたが、一般市民が見た場合、理解できる表現にしてほしい。「レジリエンス」や「スマートコミュニティ」など、分かりやすくお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プランでは用語解説を設けて、市民の方々に理解しやすい冊子づくりに配慮する。</li> <li>・また、読みやすい概要版も作成し、普及啓発を図る。</li> </ul>